

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 深澤 祐二殿

J R 東日本輸送サービス労働組合
中央執行委員長 佐々木 宏充

2 0 2 0 年 3 月ダイヤ改正等に関する申し入れ

2020年3月のダイヤ改正では、東北・北海道新幹線や上越新幹線の利便性向上、首都圏を発着する特急列車の利便性・快適性向上を図っていくことが主旨となっています。また、今改正に合わせて、山手線・京浜東北線の田町～品川間に、新たに「高輪ゲートウェイ駅」を開業、さらに、中央線（快速）と中央・総武線（各駅停車）の早朝・夜間帯で輸送体系の見直し等を行っていくとしています。

今年は、東京 2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、鉄道利用者が増加することからも安全で質の高い輸送品質・サービス品質を提供していかなければなりません。そのためには、地域に根差したより良い鉄道ネットワークの充実を図り、安全と安心が確保された輸送品質の向上と働きがいのある職場環境づくりを行うことが必要不可欠です。

各職場ではダイヤ改正に向けた準備に全力を傾注しています。ダイヤ改正実施まで時間がない中ではありますが、これまでの組合員から出されている課題等を解消し、安全と働きがいのもてる施策とするために真摯な議論を行っていきたいと考えています。

したがって、下記のとおり申し入れを行いますので、真摯な回答を要請します。

記

1. 2020年3月ダイヤ改正実施にあたっては、輸送体系が大きく変わることから労使議論を速やかに行い、安全・安心・労働条件の向上が図られる施策とすること。また、関係する社員、利用者に十分な説明を行うとともに必要な訓練を実施すること。
2. 常磐線・中央線特急の新着席サービスの導入に伴う車掌業務は、安全と輸送品質を確保できる体制とすること。
3. 安全輸送と働きがい確保のために、組合員・社員の声に基づいた執務スペース、休憩室、休養室等の整備を行うこと。
4. ダイヤ改正実施後は労使で検証し、問題等が発生した場合は真摯に議論を行い、問題解決を図ること。

以 上